

【公表】 事業所における自己評価総括表

事業所名	やまと発達支援センター-WANTS放課後等デイサービス			
保護者評価実施期間	2026年2月1日	～	2026年2月28日	
保護者評価有効回答数	対象者数	74名	回答者数	36名
従業者評価実施期間	2026年2月15日	～	2026年2月28日	
従業者評価有効回答数	対象者数	4名	回答者数	4名
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化、充実を図ることを期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	青年期、成人期の自立生活に繋げることを意識した活動の提供。また、様々な視点で活動内容を工夫し、バリエーション豊富な活動を提供している点。	利用児の障がい特性や発達段階に応じて、将来像のイメージに合った個別や集団での活動を提供しています。	事業所としての今までの取り組みに加え、さらに活動の幅を広げられるようしていきます。
2	法人全体として、成人期における幅広いサービスを展開していることが強みとなっている点。	事業所やグループホームなどの見学会、実習などを定期的実施しており、利用児童にとってはより実践的な体験ができ、保護者には多くの情報が得られる機会にしています。	年齢等に応じて、段階的に体験等ができるような取り組みを検討していきます。
3	障がい特性への理解や対応力の高い経験豊富なスタッフがおり、また公認心理士による適切な評価を行うなど、多角的なアセスメントとそれに基づく個別対応が可能な点。	ケースカンファレンスの定期的な開催とアセスメント結果の職員間での共有に努めています。	経験年数が浅い職員については、特性理解が深められるよう、実践の中で研鑽を重ねるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所が考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制が脆弱な点。	事業所だけの課題ではなく、全般的に人材不足が深刻な状況にあります。	法人とも協議しながら、引き続き人材の確保に努めていきます。
2	保護者支援、家族支援には重点的かつ個別적으로取り組んでいますが、「ペアレントトレーニング」、「父母の会活動」のような体系化された支援が困難である点。	保護者支援、家族支援は個別性の高い案件として捉えているため、体系化が困難な面があるとともに、利用者への周知も不足していると考えられます。	支援を効率的かつ平均化して実施していくため、今までの取り組みの体系化に努めます。
3	非常時の対応について、保護者等へその周知が十分でない点。	マニュアル整備や訓練の実施は行っていますが、周知の方法には十分な意識が向いていませんでした。	非常時の対応について、今後マニュアルの存在や訓練等の実施について、より積極的に保護者等に周知するように努めていきます。